

防災気象情報が大きく変わります

6～10月は大雨や集中豪雨などの風水害が起こりやすい時期です。避難時の判断を行いやすくするため、5月29日から防災気象情報の伝達方法が新しくなりました。いざという時の避難行動について考えてみましょう。

問危機管理課(内線4361)

5月29日から防災気象情報の伝達方法が大きく変わります

「河川氾濫」「大雨」「土砂災害」「高潮」の4つの災害についての警報は、避難の要否を分かりやすくするためレベルを設定し、下記の5段階レベル+気象情報(警報など)で発表されます。また、危険警報を新設。これまでの「土砂災害警戒情報」は「レベル4土砂災害危険警報」になります。

——4つの災害以外の防災気象情報に変更はありません。

生駒市に関係するのはこの2つ

警戒レベル	市町村の発表		気象台の発表			状況	住民がとるべき行動
	避難情報		河川氾濫	大雨	土砂災害		
5	緊急安全確保	5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	災害発生または切迫 直ちに安全確保

警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難してください

4	避難指示	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	災害のおそれが高い	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮注意報	災害のおそれあり	避難に時間がかかる人は早めに避難準備
2	(気象台が発表する情報→)		レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	気象状況悪化	避難行動を確認
1	(気象台が発表する情報→)		早期注意情報				今後気象状況悪化のおそれあり	災害への心構えを高める

本市では「大雨」「土砂災害」に注意

竜田川や富雄川、中小河川の氾濫については、「大雨」に関する情報として発表します。

避難の必要性・タイミングを確認

避難情報が発令されても、全員が避難する必要はありません。詳しくはハザードマップや、右のフロー図を確認してください。

緊急避難場所の開放は「市が避難情報を発令した時」

気象台の気象情報に基づき、市が避難情報を発令した時に緊急避難場所を開放します。必ず市ホームページなどで避難情報を確認してから避難してください。



市公式LINE「災害メニュー」から情報を取得できます▶

日常チェックリスト

- 自宅が土砂災害警戒区域や浸水想定区域に入っているか
- 近くの緊急避難所と安全な避難経路
- 家族との連絡方法
- 非常用持出品、家庭での備蓄
- 正確な情報の入手方法

土砂災害・風水害の避難行動判定フロー



ハザードマップはこちら

